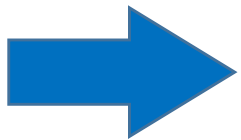


地域医療提供体制データ分析チーム 構築支援事業について

茨城県保健医療部医療局医療政策課

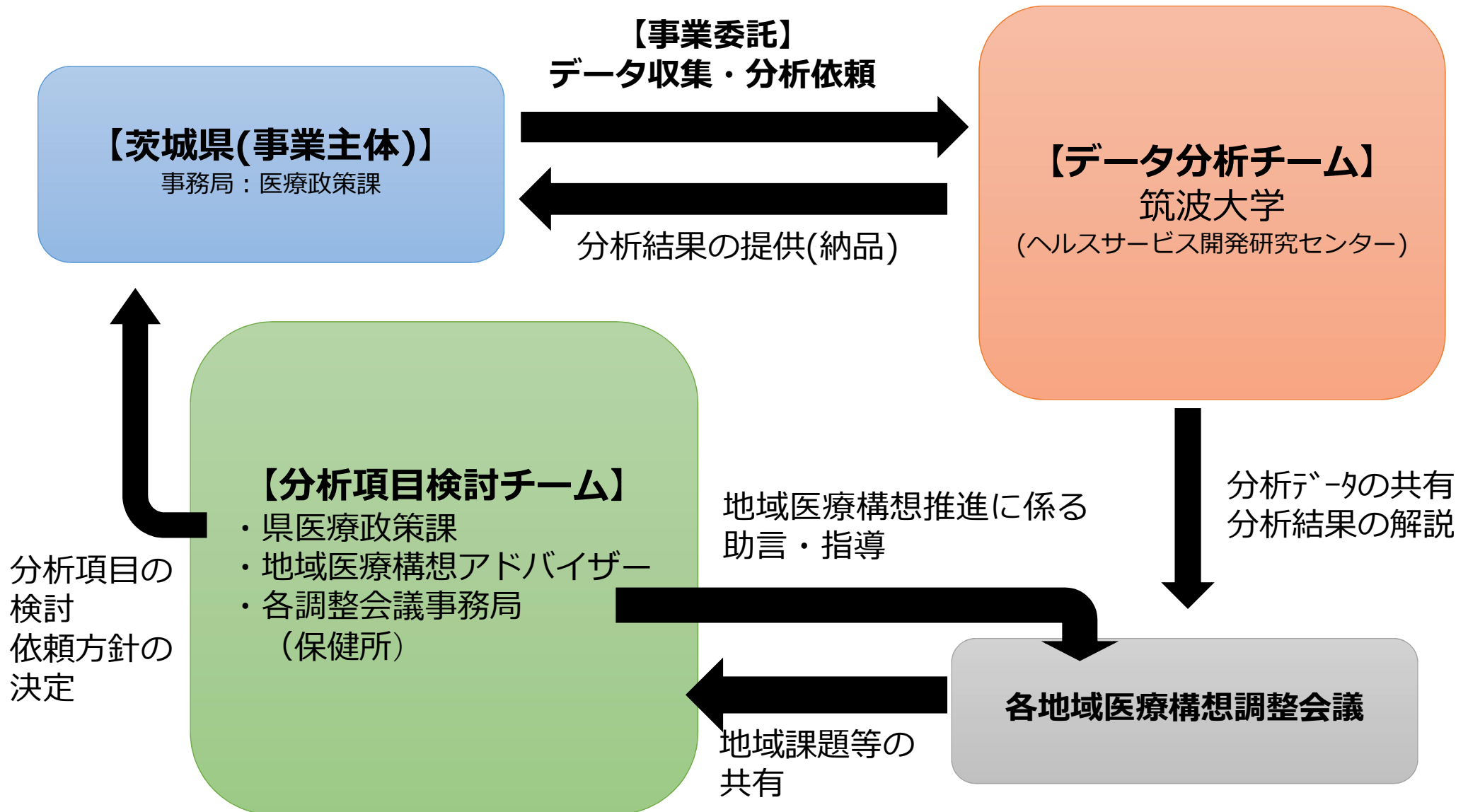
1 本県における事業目的

- ・ 2025年必要病床数との関係において、過剰となる病床機能（急性期等）から、不足する病床機能（回復期等）への転換等を促進するにあたり、本県では、多くの構想区域において将来の医療需要の変化等に関する危機感が顕在化していない状況（2035年頃まで県全体として必要病床数が増加傾向）
- ・ このため、客観的データ分析に基づく現状把握や将来予測、地域医療構想アドバイザーの活用等により、**各構想区域における医療提供体制のあるべき姿を、実態に即して「見える化」**することで、**医療機能の集約化及び医療機関相互の役割分担等を推進する必要がある。**



- ・ **県内大学・研究機関等として、レセプト関連情報の分析ノウハウを持つ筑波大学（ヘルスサービス開発研究センター）にデータ分析チーム構築・分析業務を委託（現在手続き中）**
- ・ データ分析項目の検討にあたっては、地域医療構想アドバイザーや、地域医療構想調整会議の事務局を担う各保健所担当者も参画する想定

2 事業実施体制



地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業について

3 データ分析項目について（R6.8月時点の想定）

項 目	分析項目	データソース
①レセプト関連データの分析 →各地域・個人の受療動向に関する詳細分析	・ 県内患者の受療動向 －市町村、二次医療圏、医療提供圏域における全疾病（または疾病ごと）の圏域内完結率 等 ※介護サービスの利用状況も含めた一体的なデータとして整理する想定 ※分析項目の詳細は、おって検討	・ 国保データベースのレセプトデータ ※市町村同意取得のうえ、国保連にデータ提供依頼（依頼に向けて調整中）
②オープンデータ・公的統計等の「見える化」 →地域の医療提供体制の概況に関する基本的なデータセットを整備	（想定例） ・ 世帯・人口（患者数）の状況 ※将来推計含む ・ 地域における医療資源の状況 －施設数、病床数、医療関係者の従事者数 等 ・ 医療提供体制の状況 －病床機能別に見た病床利用率、平均在院日数、病床回転数 等 ・ 救急医療の状況 －救急車受入件数、夜間休日の受入れ件数 等	・ D P C 公開データ ・ N D B オープンデータ ・ 医療施設（動態・静态）調査 ・ 病床機能報告 ・ 外来機能報告 ・ 医師・歯科医師・薬剤師統計 ・ 患者調査 ・ 人口動態調査 等

※その他、各医療圏が抱える固有の課題等について、地域医療構想調整会議事務局（各保健所）に聴き取りのうえ、データ分析等が可能か併せて検討予定

地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業について

4 R6スケジュール ※現時点での想定。進捗状況等により見直す可能性あり

項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業委託手続き 【県－筑波大学】	←→			★委託契約締結					
データ分析項目の検討 【県・各保健所・筑波大学・地域医療構想アドバイザー等】		←→		★分析項目の決定					
レセプトデータの取得 【県】	←→ (市町村・国保連等とデータ取得調整)								
レセプトデータの加工・分析 【筑波大学】					←→				★受療動向等の整理・分析
オープンデータ等の整理・見える化 【筑波大学】				←→			★オープンデータ情報の整理・分析		
調整会議等での説明・協議					←→ 地域医療構想調整会議②			←→ 地域医療構想調整会議③	